

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	石原保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成 22 年 3 月 8 日

総 評	<p>地域の人々の要望により昭和50年4月に設置された、周辺を閑静な住宅と田園に囲まれた保育園です。</p> <p>園長と主任が中心となって、法人の理念「地域社会とともに歩む」と、保育園の理念「あそびで育つ保育」を柱とした保育を行っています。</p> <p>3歳未満児は、一人ひとりの子どもの発達に合わせた援助ができるよう「担当制」をとり、担当の保育士との間に親密な関係が生まれるよう心がけています。ベテラン、中堅、初任保育士がバランスよく配置され、子どもたちが安心して園生活が送れるように努めています。</p> <p>地域の子育て家庭を対象に、園庭開放やプール開放、育児相談、子育て通信の発行、子育てに関する講演会などを実施しており、地域の育児センターとして運営を進めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごっこ遊びやコーナー遊びを展開しています。手作りの玩具や椅子などを利用して、各保育室に子どもたちが落ち着いて遊べるようにスペースを確保しています。また、隣接する公園を外遊びで利用するなど、保育環境を有効活用しています。 ・ 今回の第三者評価受診をきっかけとして、園内のマニュアル類の整備を図り、それらマニュアルを職員がいつでも閲覧できるようにしています。 ・ 園の畑で野菜を栽培し、子どもたちに収穫などの体験ができるよう取り組んでいます。また、収穫した野菜などを利用して、クッキング保育を行っています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録類の管理や、パソコンへのアクセス制限など、記録関係に対する管理体制を充実されるとなお良いでしょう。 ・ 個別の研修計画を作成し、評価・見直しを次回の計画に反映させると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-2 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	A	A
		I-2-2 (2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		A	A
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。		A	A
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		A	A
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	B
	I-3-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

■保育の理念・基本方針は、年度始めに保護者、職員に渡す「保育園のしおり」に明示されており、説明しています。園見学に来られる方に配布しているパンフレットにも明示しています。地域の方へは、子育て通信「あ・そ・ぼ」に理念を明示し、周知に努めています。

■中・長期の計画を含む保育課程を策定しています。子育て支援事業で地域の子育て家庭向けにアンケートを実施し、要望や悩みなどを把握し、それらを反映させた計画となっています。在園児の保護者からも保育課程の作成に伴いアンケートを実施し、それを反映させています。保育課程は、管理者を中心とした会議で提案したものを常勤職員で確認、意見交流をして作成しています。

■保育課程と年間指導計画、毎月の指導計画との整合性が図られています。それらは、学期ごとに反省・評価を実施しています。また、次の計画も職員会議で配布し、反省・評価が生かされるよう取り組んでいます。週の指導計画は各保育室に掲示されています。

■園長は主任と協働し、園運営に取り組んでいます。毎月1回の全体職員会議、毎週の各部署会議、行事会議などを実施し、園の方針に沿った保育が実践されるように努めています。“職員が楽しくないと子どもも楽しくない”という想いのもと、自発的に職員が取り組むことの実現に向けて、ともに努力するよう努めています。各保育室にパソコンを設置し、園内をLANケーブルで結び事務作業の効率化を図っています。パソコンへのアクセスについては、パスワードの付与や指紋認証システムを導入するなど、記録関係に対する管理体制を充実されるとなおります。

■遵守すべき法令等は、保育分野・職員の労働環境を含め常に最新の情報を把握し、職員会議等で周知に努めています。今後は、それらを正しく理解するために研修を行うなどの取り組みを行うと良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	B
③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		C	B	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	C	A

[自由記述欄]

■園長は、保育に関する動向の把握に努めています。また、地域の子育て家庭や、在園児の保護者にアンケートを実施し、そのニーズの把握に努めています。

■時短検討委員会を設置し、年5～6回の会議を開き、労働条件や処遇について改善しています。

■職員の教育・研修に関する基本姿勢が研修計画に明示されています。また、全体の研修計画を作成し、それに基づいて研修に参加しています。研修報告書を作成し、それは全職員に回覧し、内容周知に努めています。今後は、個別の研修計画を策定し、それらの評価・見直しを次回の研修計画に反映させると良いでしょう。

■実習の受け入れは主任が担当し、実習依頼があれば積極的に受け入れています。受け入れクラスの担任と事前にオリエンテーションを行っています。実習終了時には、反省会を実施し、実習生に対して助言などを行っています。

■地域の小学校の運動会への参加、小学生による園児に対する歯磨き指導、ひとりぐらしの高齢者とともに食事会に年長児が参加しています。また、夏まつり・運動会・バザーに地域の方も参加し、交流を図っています。在園児に対して、絵本の貸し出しをしています。地域子育て支援センター事業を実施しており、園庭開放やプール開放、育児相談、子育て通信の発行、子育てに関する講演会などを地域の子育て家庭に向けて実施しています。

■ボランティア受け入れに対するマニュアルを整備しています。地域の中学生のチャレンジ体験を毎年受け入れています。高校生や保育士養成校のボランティア希望者があれば、積極的に受け入れています。

■園長は、地域の民生委員、主任児童委員をしており地域との連携に努めています。学校・保健所・福祉事務所・病院・児童相談所・医療機関・自治体等のリストや連絡方法などが明示されており、職員が有効に利用しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	C	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

[自由記述欄]

- 個人情報保護に関するマニュアルを作成し、職員とはその内容を遵守する誓約書をかわしています。ホームページには園児の写真を公開していますが、それに対する同意書を作成し、園児や保護者のプライバシー保護に努めています。
- 苦情解決についての規定を作成し、「保育園のしおり」にその内容を掲載し保護者に周知しています。苦情解決の内容は記録されています。園全体に関わることは、保護者を特定出来ないよう配慮したうえで、改善内容を公表しています。
- この第三者評価受診を契機として、園長・主任が中心となって、自己評価を行いマニュアルの精査や、さまざまな仕組みについて検討が行われています。園独自のマニュアルブックを作成し、各保育室、事務所に配置し職員がいつでも閲覧出来るようにしています。
- 子どもの身体状況や生活状況等の情報は職員間で共有されており、保育に反映しています。今後は、家族調査票の管理や、パソコンへのアクセス制限を含め、記録類に対する管理体制を改善されると良いでしょう。
- 園の情報を掲載したホームページやパンフレットなどを作成しています。園見学も随時受け入れています。入園前には、説明会を開き、園の理念や園生活に対する説明を行なっています。在園児に対しても新年度説明会を開き、園生活に対する説明を実施しています。
- 小学校へは、保育要録を作成し提出しています。また、小学校との連絡会を行い、卒園児の状況を確認しています。転園に対する保育の継続性に配慮した対応は、転園先より問い合わせがあった場合のみ、実施しています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

■子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、園全体で子どもの状況を見守れるよう配慮しています。全園児に検温を実施し、一人ひとりの体調把握に努めています。内科健診や歯科健診の結果を記録し、保護者に伝達するとともに職員間でもその情報を共有し、保育に反映するようにしています。

■感染症に関するマニュアルを作成し、感染防止に努めています。感染症が発生した場合は、園児名が特定出来ないよう人数を公表し、その対応方法を掲示しています。

■園の畑があり、野菜などの栽培活動を行なっています。収穫したものは、クッキング保育などで利用し、園児で食べています。食中毒に配慮して、12月から5月までの間、毎月1回クッキング保育を実施し、園児が収穫から調理まで体験出来るよう取り組んでいます。

■毎月、給食委員会を開き各クラスの喫食状況などを報告し、次の献立に反映させています。おやつは週3回は手作りで、それ以外も果物などを中心に提供しています。離乳用の食具へも配慮し、成長発達に応じて、スプーンも4種類用意しています。年2回、給食参観・保護者への試食会を行い、アンケートを実施し、献立に反映させています。

■アレルギー疾患がある子どもに対して、医師の指示のもとアレルギー対応食を提供しています。

■園庭を囲むように園舎があり、採光や通風などに配慮されています。各保育室には、コーナー保育スペースが設置され、子どもたちが落ち着いて園生活が送れるよう配慮されています。手作りの遊具や、椅子などがあり温かい雰囲気を出しています。各保育室は清潔に保たれており、園内の安全点検も定期的に行なっています。

■3歳未満児は「担当制」をとり、担当の保育士との関係を大切に保育を行なっています。ゆとりのある保育士の配置に努めており、家庭的な雰囲気でも生活出来るよう配慮しています。隣接する公園を有効に利用し、時間帯によっては3歳未満児は園庭、3歳以上児は公園で遊びます。

■公園マップを作成し、近隣の公園まで散歩に出かけています。自然物の収集などを楽しみ、造形活動などでそれを利用しています。絵画や造形活動、リトミックなどに取り組んでいます。

■長時間にわたる保育のための環境を整備しています。延長保育は、お菓子を提供し、食べた内容と量を毎日保護者に知らせています。早朝保育も特定の保育士による対応を行なっています。

■障害のある子どもが、自然な形で園生活が送れるよう努めています。加配の職員は、卒園まで同じ保育士が担当するよう配慮しています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

[自由記述欄]

■3歳児未満児は、家庭連絡帳があり日々の子どもの様子を保護者に伝えています。1歳児から5歳児まで、今日の保育として保育室前に保育内容を毎日掲示しています。年1回、個人懇談を実施し、その内容は記録され保育に反映しています。クラス懇談会も年1回実施し、保育の様子をビデオで撮影したものをしながら話し合います。保育参観や給食参観以外にも、保護者が希望される場合は随時応じるようにしています。

■虐待に対するマニュアルを整備し、その知識、対応方法を職員間で共有しています。

■子どもの発達状況について、年間指導計画に基づき、記録にばらつきが出ないよう所定の書類に記録・管理されています。記録方法は、年2回から3回園内研修を実施し、適切な記入に努めています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	B

[自由記述欄]

■衛生管理マニュアルを作成し、常に清潔に保たれています。食中毒の発生時に対応するマニュアルや嘔吐物処理の手順などを整備、職員に周知しています。安全管理に関するマニュアルを整備しています。毎月、避難訓練を実施しています。今後は、不審者侵入時の対応について、訓練実施やマニュアルを整備されるとなおります。